



学校だより

平成29年度小川中学校
平成29年7月7日 発行
NO. 4

文責：山中

人権教育旬間

6月13日から30日までは人権教育旬間でした。旬間中は、校長先生を始め、人権擁護委員の方など様々な方のお話を聞くなどして、身の回りの人権について見つめなおすことができました。

<校長講話 6月8日 「わたしのせいじゃない」>

校長先生が、「わたしのせいじゃない」という一冊の絵本を紹介し、朗読をしてくださいました。泣いている女の子にまわりの子どもたちはみんな「わたしのせいじゃない」と言って責任を押し付け合います。「みんながしているから……」「わたしには関係ない……」という言葉に隠されてしまう各自の責任ということについて深く考えさせられる作品です。最後に一行、「わたしのせいじゃない？」となげかけがあります。人権教育旬間のスタートです。

学校のやすみじかんに

あったことだけど

わたしのせいじゃないわ

(中略)

ひとことも しゃべらなかつた

ぼくたちを みつけていただけだつた

さけばばいいのに

たたいても わたしは へいきだつた

みんな たたいたんだもの

わたしのせいじゃないわ

わたしのせいじゃない？

文 レイフクリスチャンソン
訳 にもんじ まさあき
絵 ディック・ステンベリ
発行所 岩崎書店
1998年4月20日第9刷発行

<人権擁護委員授業（講師：人権擁護委員 福嶋美雪先生）6月28日>

2年1組において、人権擁護委員の福嶋美雪先生による授業がありました。授業内容は、「友だちの良さを考える」。友だちの名前が書かれた短冊を引き、その友だちの良さを考え発表し合いました。書き出すと皆さんの手は止まらず、「責任感がある」「やさしい。僕が何かやっていると手伝ってくれる」「いつも明るくて、一緒にいるだけで楽しい」などなど、一人ひとりの良さが次から次へと具体的に挙がりました。

<生徒の感想より>

- ・人それぞれに違う良さがある、このクラスはどのクラスにも負けない、とても明るく、楽しくいいクラスだなと思いました。
- ・僕は友だちの良い所はたくさん知っているけれど、自分の良い所はそんなに考えたことはなかった。しかし、今日やって〇〇くんが自分の良い所をたくさん探してくれたので、改めて自分にもこんなに良い所があるんだと感じた。

6月の学校行事より

<移動音楽教室 6月5日>

太鼓、笛、津軽三味線、箏等、日本の伝統芸能や楽器の演技・演奏を楽しみました。和楽器の体験コーナーでは、三人の生徒が太鼓、三味線、箏の演奏にチャレンジしました。三人とも、初心者とは思えないほどの素晴らしい演奏でした。アンコールでは、「美女と野獣」「365日の紙飛行機」を和楽器の音色で味わいました。



<壮行会、長水大会、北信大会 6月11、12日、24、25日>

男女バレー部は長水大会、北信大会、水泳部は北信大会に出場しました。男女バレー部は、北信大会にて残念ながら敗退となってしまいましたが、随所に素晴らしいプレーが見られ、三年間の部活動の成果を垣間見ることができました。水泳部の皆さんは、ほとんどの選手が自己ベストを更新し、多くの選手が県大会へと駒を進めることができました。



【大会結果】 ※水泳部は次回掲載します

◎男子バレー部

- ・長水大会（19位）
 - 犀陵中 0-2（15-25、18-25）
 - 川中島中 0-2（9-25、19-25）
 - 附属中 2-0（25-20、25-16）
 - 東部中 0-2（17-25、19-25）
- ・北信大会
 - 東北中 0-2（11-25、13-25）

◎女子バレー部

- ・長水大会（14位）
 - 柳町中 2-0（25-20、25-17）
 - 川中島中 0-2（11-25、8-25）
 - 篠ノ井西中 1-2（25-23、21-25、10-25）
 - 戸隠中 2-0（25-13、25-21）
 - 三陽中 0-2（22-25、13-25）
- ・北信大会
 - 信濃中 0-2（12-25、12-25）

<小川教育協議会 6月14日>

小川小中学校の教育に関わる多くの方にご来校いただきました。授業参観ののち、協議題「地域における健全育成と生活づくり」に沿って、各分科会において活発な討議がされました。地域に支えられている学校であることを、再認識することができた有意義な会でした。

<教育実習>

5月29日より三週間、教育実習が行われました。本校の卒業生でもある、川又和恵さん（保健体育）です。はじめはぎこちなさもありましたが、三週間後の研究授業では、堂々とした姿勢で、明確な指示を生徒に出していました。三週間の実習の成果を感じました。生徒にとっても、先輩の姿に自分の将来を重ねる、貴重な体験でした。

